

地方単独事業（ソフト）の「見える化」に関する検討会 報告書骨子（案）

第1 地方単独事業（ソフト）の「見える化」に関するこれまでの経緯

1. 地方単独事業（ソフト）の意義等
2. 地方単独事業（ソフト）の「見える化」に関するこれまでの取組
3. 経済財政運営と改革の基本方針等
4. 地方財政審議会意見
5. 本検討会の設置

第2 平成29年度決算調査

1. 平成29年度決算調査に向けた議論
 - (1) 歳出区分の設定の考え方
 - (2) 新たな歳出区分への計上ルール
 - (3) 各歳出区分に係る「関係法律」
 - (4) 平成29年度決算調査において各団体に確認すべき事項等
2. 平成29年度決算調査の実施

第3 平成29年度決算調査結果

1. 調査結果
 - (1) 調査結果の概要
 - (2) 歳出小区分別決算額
2. 各団体からの意見
 - (1) 調査表や記載要領の改善点
 - (2) 各地方公共団体における決算統計システム改修を含めた事務負担等
 - (3) 「見える化」による他団体比較
 - (4) 「見える化」にあたっての公表方法・公表様式
 - (5) 複数の目的別大区分・中区分の下に設定する歳出小区分の統一の可否

第4 今後の課題

1. 平成29年度決算調査を通じて明らかになった課題
 - (1) 歳出小区分の設定のあり方
 - (2) 歳出小区分への計上の精度向上
 - (3) システム改修による対応の必要性
2. 平成30年度決算調査
 - (1) 平成30年度決算調査の方針
 - (2) 平成30年度決算調査の実施時期

第5 提言